

講義科目 : 医学知識	単位数 : 2
担当 : 福田 洋子	学習形態 : 選択科目
	社会福祉士必修科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

ヒトの身体の構造・機能・病気の起こる機序について学習し、普通よく見られる疾患について理解できるようにします。学習を通し自分自身の身体について理解を深め、健康維持について考察できるようになることを目標とします。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
 人体の構造の理解：細胞と組織・器官、器官系、筋骨格系、循環器系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系
 人体の構造の概要、人体各部位の名称
- 第2回 健康の概念と健康増進、健康づくり、メタボリックシンドローム
- 第3回 人の成長・発達と老化、骨粗鬆症、変形性関節症
- 第4回 循環器系と疾患、不整脈、狭心症、心筋梗塞、心不全、高血圧、癌、免疫・アレルギー疾患
- 第5回 血液と疾患：貧血、血液凝固異常、白血病、リンパ腫
- 第6回 腎臓・泌尿器系と疾患：糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、尿路感染症
- 第7回 呼吸器系と疾患：肺炎、慢性閉塞性肺疾患
- 第8回 消化器系と疾患：肝臓・胆嚢・膵臓の疾病 胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、肝炎、肝硬変、胆嚢炎、消化器系の腫瘍
- 第9回 バイタルサインとバイタルチェック等
- 第10回 脳・脊髄・神経系と疾病：精神障害と疾病
- 第11回 脳・脊髄・神経系と疾病：脳卒中、脳出血と脳梗塞、神経変性疾患（パーキンソン病ほか）
- 第12回 内分泌系と疾患：糖尿病1型と2型、肥満、痛風、先天性代謝疾患（フェニルケトン尿症など）
- 第13回 生殖器系と疾病：悪性腫瘍等
- 第14回 感覚器の疾病：眼・耳・鼻・のどの疾病、皮膚と疾病
- 第15回 先天性疾患

教材・テキスト・参考文献等

- * 新・社会福祉士養成講座1第3版 中央法規出版
 「人体の構造と機能及び疾患」

成績評価方法

定期試験60%、課題30%、授業の取り組み10%

実務経験

大学病院で看護師として12年、その他障害者・高齢者施設等で勤めた後、介護福祉士養成の教育に携わっております。実務経験を活かし、授業では実践に役立つ知識が身につくよう説明します。

その他

医学の知識は誰にでも必要です。自分の身体のことや病気のことを良く知り、健康な生活を送れるよう知識を深めましょう。社会福祉士の国家試験に必要な医学知識も深めましょう。